

式 辞

H31.4.8(月)

桜の花もほころび始め、美しい季節を迎えた今日の佳き日に、本校同窓会長の荒井 進様、PTA会長の渡邊弘章様をはじめ、多数のご来賓の皆様のご臨席のもと、希望に満ちた240名の新入生を迎えて、ここに平成31年度山形県立上山明新館高等学校・入学式を挙行できますことは、私たち教職員にとりまして、この上ない大きな喜びであります。誠にありがとうございます。

また、喜びの日を迎えられた保護者の皆様には、立派に成長した我が子の晴れやかな姿をご覧になり、さぞかし頼もしく感じていることと思います。心からお祝い申し上げます。

そして、ただいま入学を許可いたしました新入生の皆さん、御入学おめでとうございます。皆さん一人ひとりを心から祝福し、歓迎いたします。

皆さんは人生の中で初めての試練と言うべき入学試験に挑み、合格し、今ここにいます。御家族や中学校の先生方の支援があったにせよ、最終的には自らの責任と決断で本校への進学を決めたことと思います。いくつもある高等学校の中でこの上山明新館高等学校を選んだ皆さんは、今日、新しい自分を見つけるために、その扉をあけました。そして、その扉の奥にはこんな言葉が書かれています。

(皆さんの右側前方の壁面をご覧ください。大きな文字が書かれています)

日日新(ひび あらたに)又日新(また ひに あらたなれ)。これは本校の校訓です。その意味するところは、「毎日新しい気持ちで過ごし、努力を積み重ねることにより、自分を磨き、さらに成長させることができる」ということです。高等学校ではこれまでの義務教育とは違い、自己責任に裏打ちされた行動が一層求められます。その時、その場で、何をすべきで何をすべきでないのか、どうすることが適切なのかを自分で考え、判断し、「自主的・主体的に行動する力」を身に付けていくことが必要になってくるのです。高等学校のスタートに当たり、しっかりこの校訓を胸に刻んでほしいと思います。

さて、夢と希望に満ちあふれている皆さんに、ぜひ、心に留めておいて

いただきたいことが、三つあります。

一つ目は、「目標に向かって努力すること」です。日米で通算28年間プレーし、先日、現役を引退したイチロー選手は、数々の前人未踏の記録を打ち立てましたが、彼は、それらを「ほんのチッポケなことに過ぎない」と言い切っています。その言葉どおり、どんな記録を出しても、どんな栄冠を得ても現状に満足することなく、常に次の更なる高み（目標）を目指して、地道な挑戦を重ねてきました。そしてイチロー選手は、「その積み重ねこそが、とてつもない（とんでもない）記録にたどり着く、ただひとつの道である」と、“努力することの大切さ”、“努力を続けることの大げさ”を語っています。したがって、漫然と過ぎていく日常には、努力するエネルギーは生まれてきません。現状を認識し明確な目標の設定があってこそ、はじめて努力しようとする意欲が沸き起こってくるのです。高校生活がスタートした今、まずは、学習や部活動、将来の進路など、どんなことでも結構ですので目標を立てて、その実現のために努力を重ねてもらいたいと思います。

二つ目は、「学校は学びの場である」ということです。学びの捉え方は、教科の学習だけではありません。毎日積み上げていく授業はもちろん、校内外に学ぶ機会は沢山あります。そして、これからは「自分で課題を見つけ、解決する探究的な学び」が重要となります。皆さんは、これまで「知識はたくさんあればよい。」と考えていたかもしれません。しかし、知識の量 = (イコール) 学力という時代は終わりつつあります。なぜなら、人間の記憶力はコンピューターに勝てないからです。AIすなわち人工知能に人間が勝てるのは「考える」「思考力」という領域です。問いを立て、答えを見つけるためにはもちろん知識は必要ですが、知識だけでは解決できない時代なのです。知識を活用し、考え、様々に組み合わせる作業があり、初めて、答えを手に入れることができるのです。この我々人間しかできない「探究的な学び」を通して、学び方や学ぶ喜びを知り、それらを活用して、変化の激しい世の中に対応していく力を育ててほしいと思います。

三つ目は、「出会いと関わりを大切にすること」ということです。今日出会った仲間や先生をはじめ、先輩や後輩、地域の方々など、これからたくさん

の人たちとの出会いの場が生まれます。その出会いの中で、目と目を合わせ、言葉を交わしながら関わりを持つことで、自分にはないものを相手から学び、自分をさらに成長させることができます。また、高校時代は生涯の友に巡り合う絶好の機会でもあります。あらゆる機会をとおして、一生涯の良き友を見つけてほしいと思います。

本校教職員は、常に皆さんの姿と心を見つめ、声を聴き、話しかけ、時には厳しい言葉をかけながら全力で指導にあたります。皆さんも私たちとしっかり向き合ってください。

保護者の皆様、私ども教職員は、生徒一人ひとりに「確かな学力」と「豊かな人間性」が身につくよう丁寧に時間をかけて、温かさとしささを併せ持ちながら指導してまいりたいと思っております。そのためにはご家庭のご理解とお互いの連携が必要です。私達と共に手を携えながらご協力いただきますようお願い申し上げます。

間もなく「平成の時代」から「令和（れいわ）の時代」へとバトンが渡り、新しい時代の幕開けとなります。次の新しい時代に生き抜く皆さんが、明日からの高校生活の中で、たくさんの達成感と充実感を手に入れることを期待いたします。「勇気」と「希望」と「情熱」に満ちた時間の中で、「強く」、「しなやか」に成長されることを心から願って、式辞といたします。

平成三十一年 四月八日

山形県立上山明新館高等学校長 阿部 孝